

Arcstar Smart PBX

【SR-8000VN/SR-7100VN】

再起動・

本番機/スタンバイ機交換
手順書

NTTドコモビジネス株式会社

第1.1版

2025年7月1日

作業概要

【はじめに】

本手順書は、Arcstar Smart PBXサービス(以降、SmartPBXと記載)をご利用中の不具合で、SR-8000VN/SR-7100VN (転送GW)が被疑箇所となった際の再起動および、コールドスタンバイ機への交換手順書となります。本頁注意事項を確認の上でご利用ください。

注意事項

- SR-8000VN/SR-7100VNが正常に動作しない（外線での発着信がうまくいかず、IP-Phone再起動で復旧しない）場合にのみ実施してください
- スタンバイ機との交換前、必ず本番機の再起動、および動作状況の確認をお願いいたします
- 本番機とスタンバイ機を切替える際に、SR-8000VN/SR-7100VNのケーブル抜き差しが発生しますので、差し間違いが発生しないよう事前に十分ご確認ください

事前準備	本番機とスタンバイ機の交換の際のケーブル識別シールは必要に応じてご準備ください。
------	--

作業全体の流れ

以下に、全体の作業の流れを示します。なお、スタンバイ機をお持ちでないお客様については、以下の1～2の再起動手順のみご参照ください。

1. 再起動実施(本番機)

P.3

2. 再起動後作業

P.5

3. 本番機→スタンバイ機 交換

P.7

4. 最終動作確認

P.9

スタンバイ機をお持ちのお客様

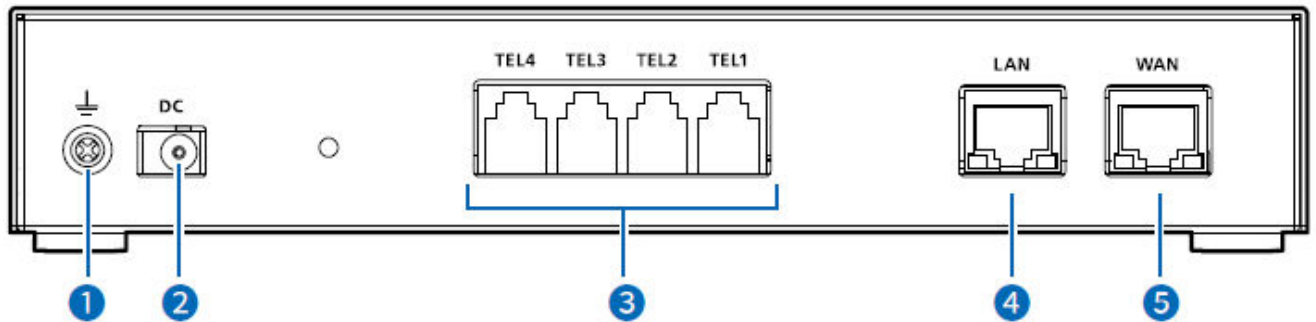
1. 再起動実施(本番機)

本番機の再起動を実施します。

発着信などの動作に問題があるなど、転送GWの不具合の場合に実施します。

1-1 転送GW 後面部の名称と機能

接続部の説明は以下の通りです。



[図：SR-8000VN後面部]

① アース端子

市販のアース線を接続します。

② DCジャック

本製品に付属のACアダプターを接続します。

③ [TEL](1～4)ポート
(RJ-11型)

アナログ電話機やG3ファクシミリを接続します。

④ [LAN]ポート

HUBなどのネットワーク機器と接続します。

ランプ表示



点灯: 接続時
点滅: データ通信中
①緑色: 1000BASE-T/2.5GBASE-T時
②橙色: 100BASE-TX時

⑤ [WAN]ポート

ADSL、VDSL、CATVでお使いのブリッジタイプモデム、またはFTTHでお使いの回線終端装置と接続します。

ランプ表示

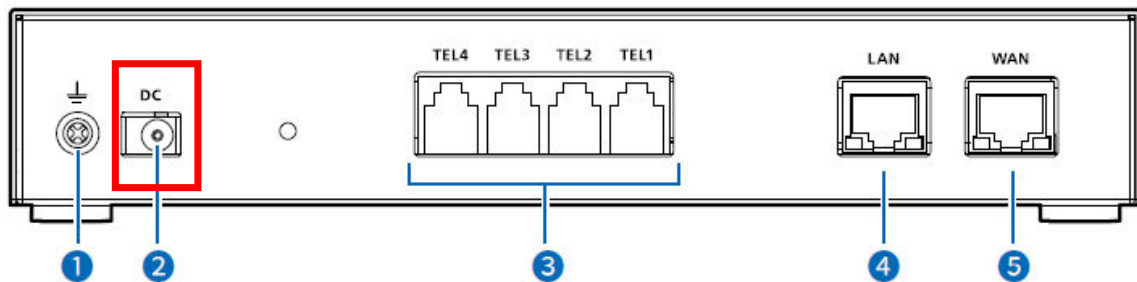


点灯: 接続時
点滅: データ通信中
①緑色: 1000BASE-T/2.5GBASE-T時
②橙色: 100BASE-TX時

1. 再起動実施(本番機)

1-2 再起動

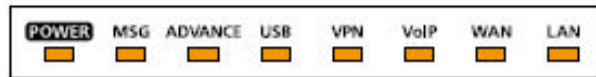
②のDCジャックからACアダプタを抜き差し、転送GWを再起動します。



[図：SR-8000VN後面部]

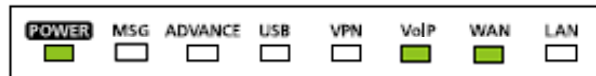
[再起動中]

一度全点灯(橙)し、再起動後にランプ再点灯(緑)になります。



全点灯(橙)

[再起動後]



再起動後、POWER、WAN、VoIPの緑ランプが緑点灯します。

※ご使用の環境により、[POWER]、[WAN]、[VoIP]ランプ以外の状態は異なります。

(全点灯時を除く)

2. 再起動後作業

本番機の再起動が完了したら、事後作業を行います。

2-1 「Web設定変更」ページの更新

別紙「Web設定変更サイトでの更新手順書」を参考に実施してください。
Web設定変更ページでの更新手順書およびファームウェアVer UP手順書
NTT Com お客様サポート

本作業はSR-8000VN/SR-7100VNをSmartPBXの内線サーバに登録するための作業です。本作業を実施しなくても、1時間以上経過すれば自動で登録完了しますので、必要に応じて実施してください。

2-2 IP-Phoneの再起動

SR-8000VN/SR-7100VN配下の各IP-Phoneの再起動を以下の手順で実施してください。なお、この手順はSR-8000VN/SR-7100VNの再起動後、早期にIP-Phoneを利用可能にするための手順です。1時間以上経過すれば自然に利用可能になりますので、必要に応じて実施してください。

【手順】

電源のOFF/ONを実施(電源ケーブル/PoEケーブル抜去→電源ケーブル/PoEケーブル接続)

2-3 動作確認

IP-Phoneの再起動までが完了したら、外線での発着信確認を行い動作に問題が無いことをご確認ください。

以上で、本番機の再起動は完了です。

2. 再起動後作業

本番機の再起動を実施しても事象が解消しない場合に、故障受付へ不具合のご連絡をいただく際の情報としてご確認をお願いします。

本番機とスタンバイ機の交換を行う場合は、次項以降の手順で作業を行います。

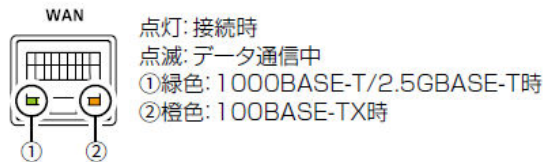
2-4 ランプ状態確認

後面部の[WAN]ポート、[LAN]ポートについては、ケーブルが接続されているポートのランプ状態を控えておいてください。(ランプ状態は下記を参考)

※故障受付へ不具合のご連絡をいただく際に再起動後の状態としてご連絡をお願いします。

[WANポート]

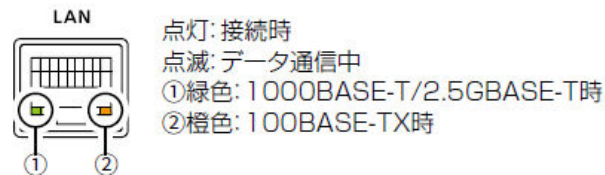
ランプ表示



メモ (控え)	WAN : <input type="checkbox"/> 点灯、 <input type="checkbox"/> 点滅 / <input type="checkbox"/> 緑、 <input type="checkbox"/> 橙
------------	---

[LANポート]

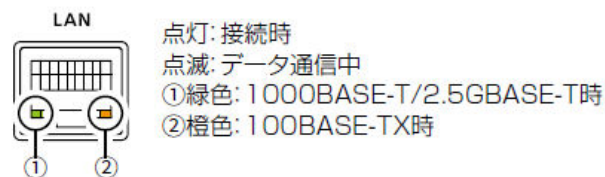
ランプ表示



メモ (控え)	LAN : ケーブル接続 <input type="checkbox"/> 有、 <input type="checkbox"/> 無 / <input type="checkbox"/> 点灯、 <input type="checkbox"/> 点滅 / <input type="checkbox"/> 緑、 <input type="checkbox"/> 橙
------------	---

[LAN2ポート] ※SR-7100VN用

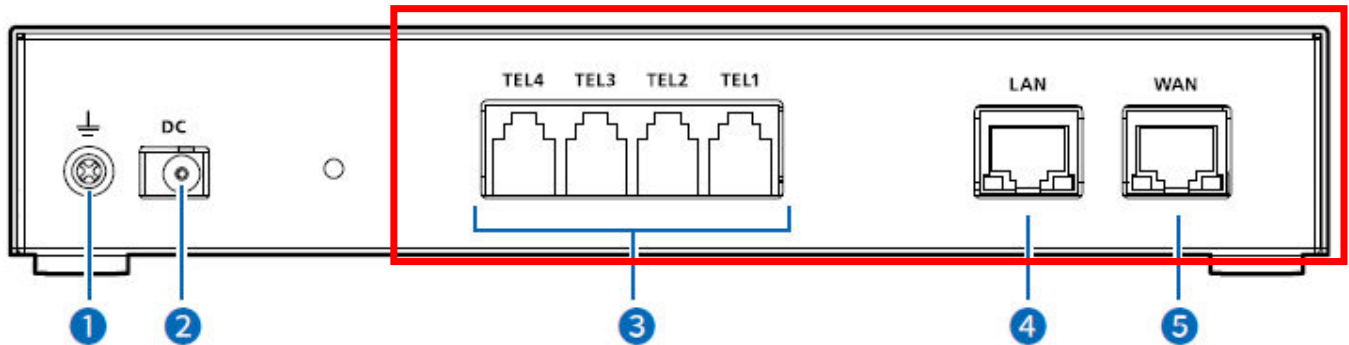
ランプ表示



メモ (控え)	LAN : ケーブル接続 <input type="checkbox"/> 有、 <input type="checkbox"/> 無 / <input type="checkbox"/> 点灯、 <input type="checkbox"/> 点滅 / <input type="checkbox"/> 緑、 <input type="checkbox"/> 橙
------------	---

3. 本番機→スタンバイ機 交換

スタンバイ機のアップデート作業を行うため、本番機に接続されているケーブルを抜き、スタンバイ機側に差替えます。ケーブルを抜く前に、元の構成に戻せるようにケーブルにタグ付けを行った上で作業を行ってください。



[図：SR-8000VN後面部]

3-1 ケーブル識別シール貼り

③～⑤に接続されているケーブルにケーブル識別シールを張り、各ケーブルがどのポートに接続されているか確認、タグ付けを行ってください。

※識別シールは必要に応じてお客様でご用意ください。

3-2 本番機のケーブル抜去

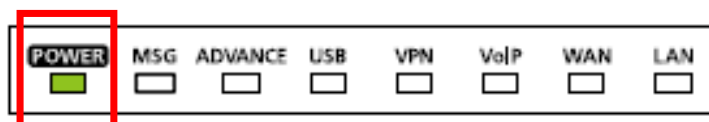
SR-8000VN/SR-7100VNの本番機から、③～⑤の各ポートに接続されているケーブルをすべて抜きます。

③のTELポートのケーブルを抜去する際は対向機器の仕様に応じて対向機器のシャットダウンなどを実施して下さい。

3-3 スタンバイ機の起動とケーブル接続

スタンバイ機の電源がOFFの場合は1度スタンバイ機の電源をONにしてください。

スタンバイ機が起動し、POWERランプが点灯(緑)になったら起動完了です。



POWERが ■ 緑点灯になったら起動完了。

事前に確認いただいた本番機と同じ様に、スタンバイ機にケーブルを接続してください。

④TELポートのケーブルを接続する際には対向機器の仕様に応じて対向機器のシャットダウンなどを実施して下さい。

※SR-7100VNはLANポートが2ポート搭載されております。交換前と同様の接続にご注意ください。

3. 本番機→スタンバイ機 交換


3-4 接続状態の確認

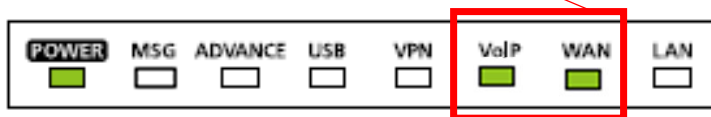
ケーブルが正しいポートに接続されていることを確認してください。

3-5 [WAN]、[VoIP]ランプの確認

前面部[WAN]、[VoIP]ランプが緑点灯していることを確認します。

※ご使用の環境により、[POWER]、[WAN]、[VoIP]ランプ以外の状態は異なります。
(全点灯時を除く)

 緑点灯であることを確認



4. 最終動作確認

スタンバイ機への交換が完了したら、最終動作確認を行います。

4-1 「Web設定変更」ページの更新

別紙「Web設定変更ページでの更新手順書」を参考に実施してください。

Web設定変更ページでの更新手順書およびファームウェアVer UP手順書
NTT Com お客様サポート

本作業はSR-8000VN/SR-7100VNをSmartPBXの内線サーバに登録するための作業です。本作業を実施しなくても、1時間以上経過すれば自動で登録完了しますので、必要に応じて実施してください。

4-2 IP-Phoneの再起動

SR-8000VN/SR-7100VN配下の各IP-Phoneの再起動を以下の手順で実施してください。なお、この手順はアップデート後、早期にIP-Phoneを利用可能にするための手順です。1時間以上経過すれば自然に利用可能になりますので、必要に応じて実施してください。

【手順】

電源のOFF/ONを実施(電源ケーブル/PoEケーブル抜去→電源ケーブル/PoEケーブル接続)

4-3 動作確認

「3. 本番機→スタンバイ機 交換」作業終了1時間経過後、または4-1、4-2作業が完了したら、外線での発着信確認を行い動作に問題が無いことをご確認ください。

以上で本番機とスタンバイ機の交換作業は完了です。

4. 最終動作確認

本番機とスタンバイ機の交換を行っても事象が解消しない場合、故障受付へ不具合のご連絡をいただく際の情報としてご確認をお願いします。

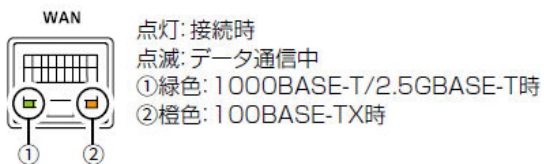
4-1 ランプ状態確認

後面部の[WAN]ポート、[LAN]ポートについては、ケーブルが接続されているポートのランプ状態を控えておいてください。(ランプ状態は下記を参考)

※故障受付へ不具合のご連絡をいただく際に本番機→スタンバイ機交換後のランプ状態としてご連絡をお願いします。

[WANポート]

ランプ表示

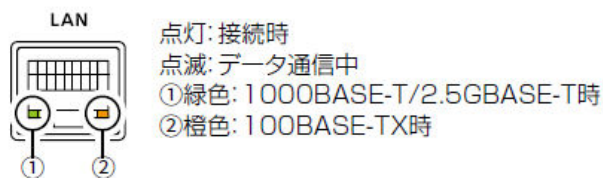


メモ
(控え)

WAN：□点灯、□点滅 / □緑、□橙

[LANポート]

ランプ表示

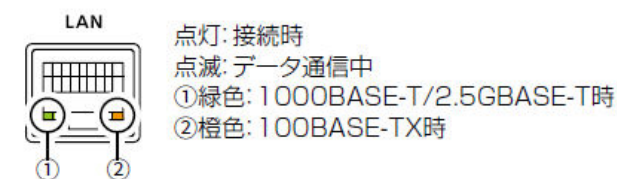


メモ
(控え)

LAN：ケーブル接続 □有、□無 / □点灯、□点滅 / □緑、□橙

[LAN2ポート] ※SR-7100VN用

ランプ表示



メモ
(控え)

LAN：ケーブル接続 □有、□無 / □点灯、□点滅 / □緑、□橙